

人と物の移動に必要不可欠で、あらゆる活動の基礎である交通について、人口減少、高齢化の進展、地球温暖化対策等の諸課題に対応するとともに、安全で安心な地域の移動手段を確保するため、移動の権利を位置付けるとともに、今後の交通に関する基本理念を定める交通基本法の制定と関連施策の充実を図り、総合的な交通体系を構築する。

関連施策

- ◆地域鉄道、地方バス、離島航路、離島航空路の維持・充実
- ◆バリアフリー政策
- ◆都市鉄道の利便性向上等
- ◆まちづくりにおける交通の取組の推進
- ◆既存道路ネットワークの活用による効果的な渋滞対策の推進
- ◆環状道路の整備による都市内交通環境の改善
- ◆交通結節点の利便性向上
- ◆空港・港湾アクセスの改善
- ◆安全で快適な自転車利用環境の創出
- ◆整備新幹線等の着実な整備
- ◆幹線交通網の総点検
- ◆自動車の新たな燃費基準の策定や環境対応車の開発・普及促進等
- ◆グリーン物流の推進
- ◆公共交通の利用促進
- ◆フェリー・内航海運の競争力強化の取組の推進
- ◆JR北海道、JR四国、JR九州及びJR貨物の自立・完全民営化に向けた取組の推進
- ◆グリーン・トランジット・システムの開発
- ◆交通計画策定のためのデータ、支援分析ツール、ノウハウの提供
- ◆モビリティサポート(歩行者移動支援)の推進
- ◆新たな地域交通手段としての超小型電動モビリティの開発・指針整備等 など



移動権の保障と支援措置の充実

環境にやさしい交通体系の実現

地域の活力を引き出す交通網の充実

22年度:交通基本法の制定と関連施策の充実に向けた基本的な考え方を取りまとめ、来年の通常国会への法案提出に向け検討

23年度～:交通基本法の制定と関連施策の充実を図り、総合的な交通体系を構築

(総合政策局、都市・地域整備局、道路局、鉄道局、自動車交通局、海事局、港湾局、航空局、政策統括官、国土交通政策研究所)

地域公共交通をめぐる諸課題を踏まえ、これまでの地域公共交通の活性化・再生に関する支援制度を再点検し、地域の自主性を尊重することを基本に置きながら充実・再構築を図る。

地域公共交通の維持・活性化に係る支援

地域公共交通の活性化・再生

鉄道、バス・タクシー、旅客船、航空機等の多様な事業に取り組む地域の協議会に対し、パッケージで一括支援することにより、地域の創意工夫ある自主的な取組を促進。



デマンドバス



デマンド受付センター

地域鉄軌道安全対策

地域の鉄軌道事業者の安全輸送確保のため、軌道更新、車両更新、ATS設置等とともに、鉄道事業再構築(公有民営化)を支援。



軌道更新

ローカル線活性化の支援

ローカル線の活性化により、鉄道利用や観光交流の促進を図るため、新駅や行き違い設備の設置等を支援。



地方バス路線維持対策

バス運行が必要不可欠でありながら、輸送人員の減少等によりその維持が困難となっている地域の生活交通路線の維持を図る。



離島航路の維持・構造改革

離島住民が日常生活を行う上で必要不可欠な交通手段である離島航路について、航路を維持するため、必要な補助等を行うとともに、省エネ船の代替建造等の構造改革に対して支援。



離島における生活航路確保のための港湾施設の整備

航路の維持や利便性の向上等のための取組と連携して、船舶の大型化、静穏度確保等のための港湾施設の整備を実施。



防波堤の整備による港内静穏度の確保



船舶の大型化に対応した係留施設等の整備

離島航空路線の維持方策

離島住民の日常生活及び経済活動に重要な役割を果たしている離島航空路線の維持を図るため、航空機等購入費補助を実施。



支援制度を充実するとともに、可能な限り、自治体や交通企業などによる地域の協議会の自主的な取組に対して一括して交付する仕組みへ

22年度:交通基本法の検討とあわせ、地域鉄道、地方バス、離島航路、離島航空路の維持・拡充について検討
23年度～:検討結果を踏まえ、関連施策を実施

(総合政策局交通計画課、鉄道局、自動車交通局、海事局、港湾局、航空局)

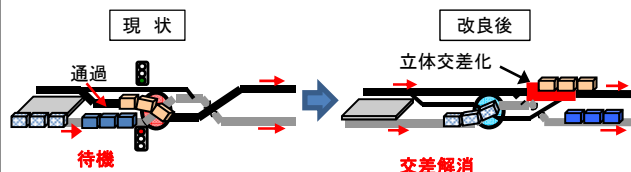
都市における地下鉄整備や国際拠点空港への鉄道アクセスの改善、既存の都市鉄道ネットワークを有効活用した連絡線整備等による速達性向上、駅や駅周辺の高質化を実施し、都市鉄道の利便性向上を推進する。

施策の内容

地下高速鉄道の整備

都市機能を再生し、魅力ある都市を創造するために地下高速鉄道の新線建設を推進。
また、高密度ダイヤの設定や相互直通運転化に伴う列車遅延の拡大に対処するための整備を推進。

遅延対策のイメージ

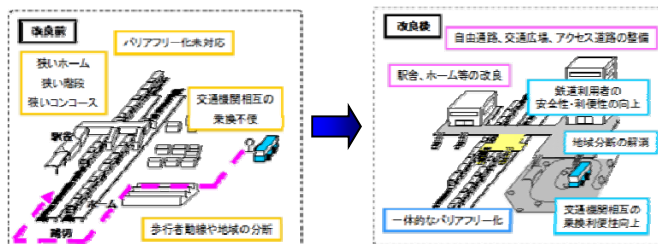


地下鉄整備例
: 東京メトロ副都心線



鉄道駅総合改善事業

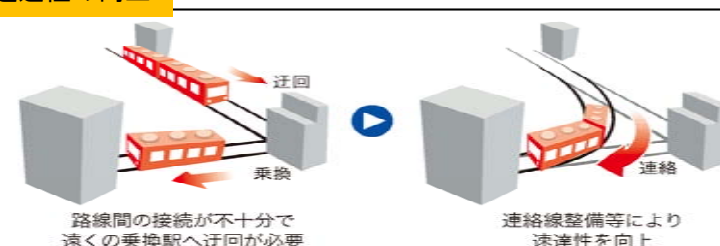
鉄道利用者の安全性や利便性向上を図るため、駅前広場の整備や自由通路の整備等、まちづくりと一体的に行われる鉄道駅の総合改善・駅機能の高度化を推進する。



都市鉄道利便増進事業

既存の都市鉄道ネットワークを有効活用し、その利便の増進を図るため、連絡線等の整備による速達性の向上及び駅周辺整備と一体的な駅整備による交通結節機能の高度化を図る。

速達性の向上



連絡線の整備等により速達性が向上

交通結節機能の高度化



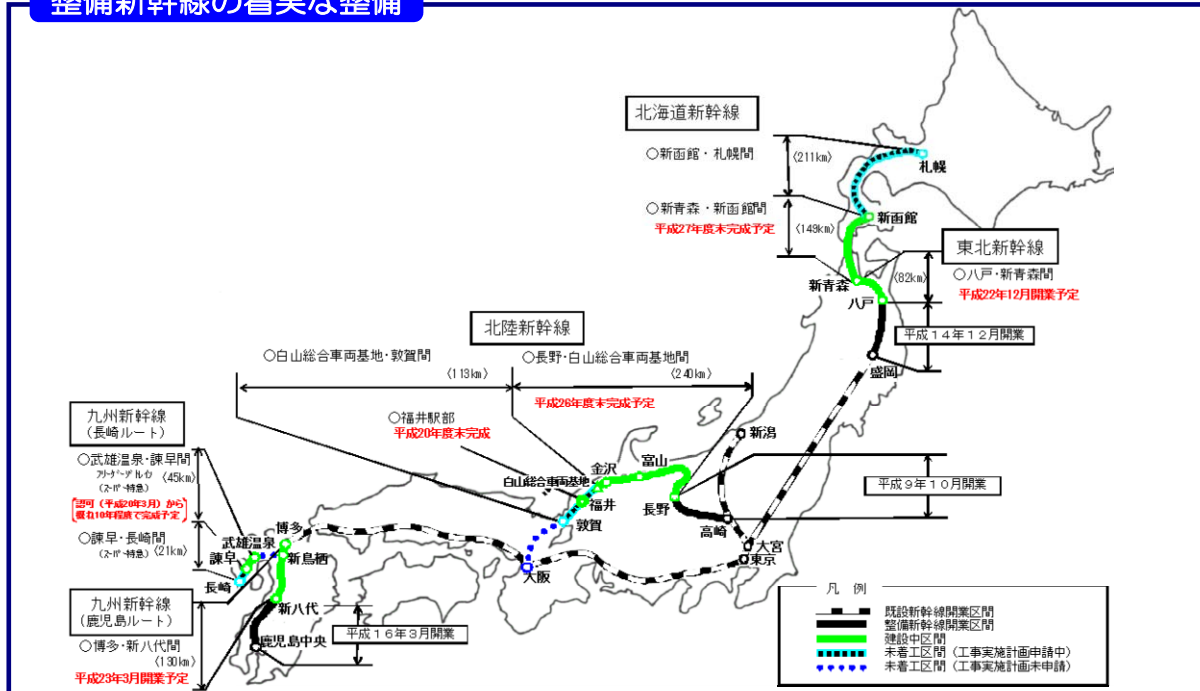
駅内外の一体的な整備によって交通結節機能が高度化

22年度 : 新線整備等を実施(なお、名古屋市6号線(桜通線)の延伸は、平成22年度開業予定)

23年度～ : 既に事業着手している路線等について、着実な整備を実施し、完成予定年次における開業を目指す。

地域間の移動時間を大幅に短縮させて関係する地域社会の振興や経済活性化に大きな効果をもたらすと同時に、環境性能と効率性に優れた高速交通機関である新幹線の整備を着実に推進するとともに、超電導リニアやフリーゲージトレインの技術開発を促進する。

整備新幹線の着実な整備



中央新幹線に関する手続の推進

- 中央新幹線東京都・大阪市間については、交通政策審議会において中央新幹線の営業主体及び建設主体の指名並びに整備計画の決定について、様々な角度から審議が進められている。
- 中央新幹線は、我が国の基幹的な高速輸送体系を形成する重要なプロジェクトであり、全国新幹線鉄道整備法に則り、今後の手続を適切に進めていく。

22年度～：《整備新幹線》建設中の区間の着実な整備の推進
未着工の区間については早期に着工すべき区間を決定
その上で、着工に当たっての基本的な条件を確認し着工する
《中央新幹線》全国新幹線鉄道整備法の規定に基づき今後の手続を適切に推進

技術開発の促進

超電導リニアの技術開発



【走行試験中の超電導リニア】

平成21年7月 実用技術評価委員会

「超高速大量輸送システムとして運用面も含めた実用化の技術の確立の見通しが得られた」と評価

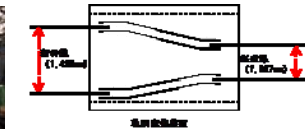
高温超電導磁石等の開発を引き続き行い、更に効率的なシステムを目指す

走行試験を継続するとともに、詳細な営業線仕様の策定等を実施

平成25年度までに山梨実験線を全線完成

全線完成後の山梨実験線において、最終確認を実施

フリーゲージトレインの技術開発



▲【走行試験中のフリーゲージトレインと軌間変換の仕組み】

平成22年夏頃を目途にこれまでの各種試験結果等を踏まえた技術的評価の実施

今年度の実施内容

新型台車の製作及び試験台試験在来線での走行試験

上記評価を踏まえつつ、引き続き技術開発を実施